

賃金運動を進展させ 現場主体の原点へ

第70回 大手企業交渉

精度欠くプレカット 工期短縮実現には不十分



住林 精度欠くプレカット 工期短縮実現には不十分



積水ハウスとの交渉

【共同テック・長島記者】大成建設(以下、大成)との交渉は、菅原副社長(東京都)を先頭に42人、大成から9人が参加した。

【共同テック・小松記者】「2021年度に4週8閉所の実現をめざす」とする大林組(以下、大林)は、組内は週休2日制の実現に向けて、労務管理の徹底を要請した。

【共同テック・小野記者】大和ハウス工業との交渉は、初めに年収ベースの回答を得ることができた。賃金調査の結果も出てきた。年収600万円に近づいてきている。子どもを学校に行かせるには600万円が必要と我々も認識している」と回答が返ってきた。



竹中工務店との交渉

建退共で改善あり 週休増で賃金棄損するな

【共同テック・村尾記者】清水建設との交渉は、神奈川県連の荒井団長をはじめ組合側から33人、清水建設が建築本部副連・見積本部連・タ1管理部や土木総務部連、東京支店安全環境部などから6人が参加した。

持ち越し課題である収入ベースの賃金調査については、技能者が自社の現場で働いておらず、実態を反映しないため実施の予定はないという。また、「年収ベースでの賃金改善の大切さは認識している」と回答が返ってきた。

全建総連関東地方協議会連合会10月17、18日を中心に第70回建退、住宅企業交渉を行いました。主要8企業での交渉の主な内容を紹介します。

期間限定で日額加算 ゆとりない工期では追及

【共同テック・長島記者】大成建設(以下、大成)との交渉は、菅原副社長(東京都)を先頭に42人、大成から9人が参加した。

【共同テック・小松記者】「2021年度に4週8閉所の実現をめざす」とする大林組(以下、大林)は、組内は週休2日制の実現に向けて、労務管理の徹底を要請した。



大成建設との交渉

【共同テック・小野記者】大和ハウス工業との交渉は、初めに年収ベースの回答を得ることができた。賃金調査の結果も出てきた。年収600万円に近づいてきている。子どもを学校に行かせるには600万円が必要と我々も認識している」と回答が返ってきた。

清水 処遇改善に前向き 1次通じて指導を徹底

【共同テック・村尾記者】清水建設との交渉は、神奈川県連の荒井団長をはじめ組合側から33人、清水建設が建築本部副連・見積本部連・タ1管理部や土木総務部連、東京支店安全環境部などから6人が参加した。

持ち越し課題である収入ベースの賃金調査については、技能者が自社の現場で働いておらず、実態を反映しないため実施の予定はないという。また、「年収ベースでの賃金改善の大切さは認識している」と回答が返ってきた。

発音がありました。就労環境の改善については「現在では全現場での4週8閉所に社をあげて取り組んでいる。2021年度までに建築、土木すべての作業所で4週8閉所を実現しようとしている」と回答。CCUSの推進については「登録加速の指しがあり、サポートセンターを設置し専属スタッフが登録を推進」と取り組む状況について、カントリータームも全現場に設置予定と発言がありました。

トイレ増設を実行 最賃、人材育成で対話を

【共同テック・小野記者】鹿島建設との交渉には、見聞が広がりました。玉田建(埼玉)は、「人材育成に我々も協力を惜しまない。鹿島として何か展覧は」と質問。鹿島側からは「高専生に作業の体験をさせた。体験させてから現場を見に行くことを理想としている」と回答がありました。

大和 週休2日の実現に向け 補填を約束せよ



大林組との交渉

【共同テック・小野記者】大和ハウス工業との交渉は、初めに年収ベースの回答を得ることができた。賃金調査の結果も出てきた。年収600万円に近づいてきている。子どもを学校に行かせるには600万円が必要と我々も認識している」と回答が返ってきた。

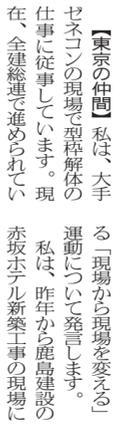
大和 初めて年収ベース回答 「600万円近い」

【共同テック・小野記者】大和ハウス工業との交渉は、初めに年収ベースの回答を得ることができた。賃金調査の結果も出てきた。年収600万円に近づいてきている。子どもを学校に行かせるには600万円が必要と我々も認識している」と回答が返ってきた。

大和 初めて年収ベース回答 「600万円近い」

【共同テック・小野記者】大和ハウス工業との交渉は、初めに年収ベースの回答を得ることができた。賃金調査の結果も出てきた。年収600万円に近づいてきている。子どもを学校に行かせるには600万円が必要と我々も認識している」と回答が返ってきた。

EV人送を増やさせた 鹿島現場で異例の役員視察



都内のビル工事現場 (記事とは関係ありません)

【東京の仲間】私は、大手ゼネコンの現場で型枠解体の仕事に従事しています。現在、全建総連で進められている「現場から現場を変える」運動について発言します。私は、昨年鹿島建設の鹿島建設の現場に、赤坂ビル新築工事の現場に入っています。敷地は狭く、24階建てのホテルですが、仮設エレベーターは1基しかありません。元請として、エレベーターは資材の搬入がメインのもので、人送りは3の次という事です。工事が進むにつれて、上階の手荷物の運搬や荷下ろしの負担が増えるばかりで、多くの職方から不満が噴出して、人送りに朝一

丸の内3-2 以降に変化 工期を優先、安全二の次

【神奈川の仲間】私は電工です。主な従事先は首都圏を中心としたゼネコン現場です。一人親方である私は、サブコンの2次企業とグリーンサイト上の覚書を交わして現場に入っています。最近工期が長く、工程を圧縮したり、変更したりで安全対策が2の次の現場が多

3カ月以上も休みなし

竹中工務店がやっている渋谷バルコの新築現場に入っている仲間からは、器具付け作業の応援に行ったり、そのま

現場従事者からの発言

【共同テック・小野記者】大和ハウス工業との交渉は、初めに年収ベースの回答を得ることができた。賃金調査の結果も出てきた。年収600万円に近づいてきている。子どもを学校に行かせるには600万円が必要と我々も認識している」と回答が返ってきた。